

KiKiの広場

2013年 6月 1日

cafe NO.32
KiKi



アーチのジャスミンがついに咲きました！可憐な白い花が開いて、甘い香りを店内まで漂わせてくれました。花言葉は「愛らしさ・清純・素直、等々」だそうです。スタッフ一同その言葉通り、アーチの下をくぐったり見上げたりしては、花と香りに癒されました。でもつくづくジャスミンって不思議だなと思います。夏の間あれだけぐんぐん伸びていたツルが秋にはピタッと止まり、冬の間は葉も枯れることなく緑のままじっと寒さに耐え、春になると芽が出てつぼみがふくらみ始め、花が咲き終わったとたん、再びツルが勢いよく伸び始めました。植物なら当たり前なのかもしれませんが、改めて四季というものを感じました。考えたら人間も同じですね。伸び盛りの時もあれば、辛抱が必要な時期もあります。全て1つの道に繋がっているのかなあとと思います。

6月の予定

11日(火)	休館日
14日(金)	12:00 open
22日(土)・23日(日)	臨時休業

「今月のケーキ」…「ダブルベリーパイ」 300円



サクッと香ばしいパイ生地とクッキー生地、コクのあるアーモンドクリームを流し、甘酸っぱいブルーベリーとクランベリーをのせて焼き上げたパイです。



今月のお気に入り…「雨の日が待ち遠しくなる絵本」

～「あめあめふれふれもっとふれ」「おつかい」「あまつぼほとり すぶらっしゅ」「すてきなあまやどり」 などなど ～



2人の幼い子どもたちが降りやまない雨を眺めながら、雨の中での楽しい空想をふくらませていく「あめあめ～」は、2人の瑞々しい感性にお母さんがしっかり寄り添っているお話です。五感をひらいてアーディゾーニの優しい絵とともに楽しんでください。「おつかい」は、ばばあちゃんでお馴染みのさとうわきこさん作です。雨の中無理やりおつかいに行かされそうになる女の子と、お母さんとのやりとりがめっちゃくちゃ楽しくて、お互い「おぬし、なかなかやるな。」という本です。最後のオチも笑えます。



今月の本欄…「お父さんが出てくる絵本」

～「もいのなか」「パパ、お月さまとって！」「ねずみのとうさんアットール」「おまえうまそうだな」 などなど ～

先月の母の日に対抗(?)して、今月は父の日になんだ絵本を選んでみました。優しく賢くてちょっぴりとぼけたお父さんなど、いろいろなお父さんが登場します。あまり多くは語らないお父さんたちですが、中でも



「もいのなか」のお父さんの一言は、とってもステキです。子どもの思いを大きく包み込む温かさにあふれています。エッツの白黒の挿絵も神秘的で、何度も読み返したくなるような絵本です。



ほっとフレイク

新川祭りの頃、元気いっぱいの中学生の男の子2人がご来店。「おススメは何ですか？」と聞かれたので、「黒豆炭酸ジュースがさっぱりしておいしいですよ。」と言うと、「黒豆？面白そう。じゃあ、それください。」と2人とも黒豆炭酸ジュースをご注文。待っている間、「ねえねえ、もしおいしかったら、みんなに言おうぜ！」などと話していました。まずジュースの色を見て、「おおー！！」「へえ～、飲んでみて、「ぶちうまい！」「すげー！」と絶賛してくれました。飲み終わると、「ごちそうさまでした。」と言葉だけでなく、手を合わせて言う2人の姿に、なんとも言えない愛おしさを感じました。恰好はちょっぴり背伸びしていますが、まだまだあどけない顔に思わず出てしまった仕草がとってもかわいくて、ほのぼのした気持ちになりました。



またその日は、なぜか中学男子が入り代わり立ち代わり、「手を洗わせてください。」とやってきました。トイレの場所を伝えると走って行って、「ありがとうございますー！」と再びカフェの入口から出ていく彼ら。「いったいなぜ？外で何が？」と不思議に思いながら、いろいろな男子に会えて、楽しくて面白い1日でした。